

2026年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|-----------|--------|-------|------------------|--------|-----|--------|---------|
| 330331079 | こどもと環境 | 福江 厚啓 | | | 1 | 選択 | 3前期 |

科目の概要

DP①、③に記載している現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育および教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むことができ、自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持つ保育者の育成を目指します。(DP⑤)
また、こどもの生活学科のDP「人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材育成」を受け、幼稚園教諭として6年間幼稚園で働いた経験を活かして、保育における具体的な場面指導や子ども理解に関する講義・演習を行います。
幼児期において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領・保育所保育指針に示された環境のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、保育士および幼稚園教諭として幼児を取り巻く環境を生かした具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につけます。

| 学修内容 | 到達目標 |
|---|--|
| ① 幼児教育における「環境」とは何かを考え、子どもが「環境」から何を学ぶのかを理解する。 ② 自然に触れる環境作りとしての栽培体験を通して、様々な事象に興味や関心をもつ環境作りのあり方を考える。 ③ 室内・室外の環境について整理し、保育の環境構成のあり方を考える。 ④ 子どもを取り巻く環境にある素材を活用した保育の理論と実践方法を理解し、模擬保育実践の計画を立て、発表する。 | ① 幼児教育における「環境」とは何かを考え、子どもが「環境」から何を学ぶのかを理解することができる。 ② 自然に触れる環境作りとしての栽培体験を通して、様々な事象に興味や関心をもつ環境作りのあり方を考えることができる。 ③ 室内・室外の環境について整理し、保育の環境構成をデザインすることができる。 ④ 子どもを取り巻く環境にある素材を活用した保育の理論と実践方法を理解し、模擬保育実践の計画を立て、発表することができる。 |

| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 |
|---------------------|--|
| 前に踏み出す力 | 主体性 保育における「環境」について、環境を通じた保育の実践方法について主体的に考えたり、調べたりすることができる。 |
| | 働きかけ力 |
| | 実行力 保育教材の研究において、積極的に情報を収集したり、意欲的に製作活動に取り組んだり、発表したりすることができる。 |
| 考え抜く力 | 課題発見力 幼児教育にとって必要な「環境」とは何か、環境作りにおける課題とは何かを考えることができる。 |
| | 計画力 |
| | 創造力 幼児の学びにとってよりよい環境作りを考え、幼児の立場に立った環境を考えて保育教材を製作したり、環境構成を考えたりすることができる。 |
| チームで働く力 | 発信力 体験を通して得た知識や技術を整理し、聞き手にわかりやすく発表することができる。 |
| | 傾聴力 発表やグループ活動において、他者の多様な意見を受け入れ、よりよい案や方法を見つけることができる。また、話しやすい雰囲気を作ることができる。 |
| | 柔軟性 |
| | 状況把握力 |
| | 規律性 課題提出期限や授業内の協働への取り組みの態度など、授業が円滑に進行するようにルールやマナーを守ることができる。 |
| | ストレスコントロール力 |

テキスト及び参考文献

テキスト
幼稚園教育要領解説書 保育所保育指針解説書 プリントを適宜配布

他科目との関連、資格との関連

こどもと環境 (330331079) は専門科目の幼・保領域の保育の内容・方法に関する科目であり、保育内容(環境)や保育内容関連科目(総論、表現、言葉、人間関係、健康)と関連する科目である。
関連する資格: 幼稚園教諭一種

| 学修上の助言 | 受講生とのルール |
|--|---|
| 体験活動を取り入れた実践的な内容で行います。主体的に参加できるよう、日頃から保育に関する教材研究や、子どもをとりまく環境について興味関心をもつようにしましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業で配布する資料の予備は保管しません。 遅刻や欠席をしないように心がけること。 授業中に携帯電話・スマホの電源は切り、カバンにしまうこと。 私語は慎み、授業中に眠っていて、授業に参加していないと判断した場合は欠席とする。 |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | | | | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---|--|--|---------------------------------|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | | |
| | | | | ② | | | | |
| | | | | ③ | | | | |
| | | | | ④ | | | | |
| | 小テスト | | 0 | ① | | | | |
| | | | | ② | | | | |
| | | | | ③ | | | | |
| | | | | ④ | | | | |
| | レポート | | 30 | ① | ✓ | | | |
| | | | | ② | ✓ | | | |
| | | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | | ④ | ✓ | | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | 60 | ① | ✓ | | | | |
| | | | ② | ✓ | | | | |
| | | | ③ | | | | | |
| | | | ④ | ✓ | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | | | | |
| | | | ② | ✓ | | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | | |
| | | | ④ | ✓ | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|---|
| <p>(S)</p> <p>①幼児教育おけるねらいと、子どもの年齢に合わせた「環境」とは何かを考え、子どもが「環境」から何を学ぶのかを十分に理解して環境構成を構築することができる。</p> <p>②自然に触れることの意義を明確にした環境作りとしての栽培体験を通して、子どもを理解した環境構成を考察し、子どもが興味関心をもつ環境作りのあり方について自分の意見を交えながら説明することができる。</p> <p>③室内・室外の環境について十分に理解し、保育の環境構成における保育者の配慮・留意点をふまえた環境デザインを工夫することができる。</p> <p>④子どもが制作活動で活用できる教材を研究し、子どもが主体的に取り組む保育の実践方法と理論を検討して模擬保育の計画を立て、わかりやすく発表することができる。</p> <p>(A)</p> <p>①幼児教育おける子どもの年齢に合わせた「環境」とは何かを考え、子どもが「環境」から何を学ぶのかを理解して環境構成を構築することができる。</p> <p>②自然に触れることの意義を明確にした環境作りとしての栽培体験を通して、子どもを理解した環境構成を考察し、子どもが興味関心をもつ環境作りのあり方について説明することができる。</p> <p>③室内・室外の環境について理解し、保育の環境構成における保育者の配慮・留意点をふまえた環境デザインを工夫することができる。</p> <p>④子どもの制作活動で活用できる教材を研究し、保育の理論と実践方法を検討して模擬保育の計画を立て、わかりやすく発表することができる。</p> | <p>(B)</p> <p>①幼児教育おける子どもの年齢に合わせた「環境」とは何かを考え、子どもが「環境」から何を学ぶのかを理解して説明することができる。</p> <p>②自然に触れる環境作りとしての栽培体験を通して、子どもを理解した環境構成を考察し、子どもが興味関心をもつ環境作りのあり方について説明することができる。</p> <p>③室内・室外の環境について理解し、保育の環境構成を工夫してデザインすることができる。</p> <p>④子どもの制作活動で活用できる教材を研究し、保育の理論と実践方法を検討して模擬保育の計画を立て、わかりやすく発表することができる。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|---|--|---|--|-------|-------------------|
| 1 | オリエンテーション 子どもにとっての「環境」を考え、ものの環境、人の環境、自然環境について整理する。 | 講義 グループ討議 google classroomによる質問の受付 | 授業の目的と内容について理解できる。 | (予習) シラバスを読んで授業内容を理解し、必要な教材を揃えておく。 (復習) 「環境」について整理したことをワークシートにまとめる。 | 90 | 主体性 傾聴力 |
| 2 | 乳児の保育環境についてふれあい遊びの方法を理解する。 | 講義 グループ討議 実践 | 乳児の保育環境を考え、ふれあい遊びの実践を通して理解したことをワークシートにまとめて提出できる。 | (予習) 乳児の保育環境について資料を読んで理解しておく。 (復習) 乳児の保育環境について理解したことをワークシートにまとめる。 | 90 | 主体性 傾聴力 規律性 |
| 3 | 幼児の保育環境について遊びの環境構成を理解する。 植物栽培の方法を学ぶ。 | 講義 google classroomによる質問の受付 | 幼児の保育環境を考え、屋内、屋外環境作りについて理解できる。 植物栽培の方法を理解することができる。 | (予習) 幼児の保育環境について資料を読んで理解しておく。 (復習) 幼児の保育環境について理解したことをワークシートにまとめる。 | 90 | 主体性 傾聴力 規律性 |
| 4 | 自然環境と遊びについてフィールドビンゴを実践し、自然環境を通じた遊びについて理解する。 | フィールドワーク グループワーク | グループごとに虫や植物を探し、自然環境を用いた遊びを理解してワークシートにまとめて提出できる。 | (予習) 自然環境について資料を読んで理解しておく。 (復習) フィールドビンゴの活用方法をワークシートにまとめる。 | 90 | 主体性 課題発見力 |
| 5 | 保育環境の教材研究① エプロンシアターの製作方法および発表について | 講義 質疑応答 | エプロンシアターの製作方法について理解できる。 | (予習) エプロンシアターについて調べておく。 (復習) エプロンシアターの題材を決める。 | 90 | 実行力 創造力 |
| 6 | 保育環境の教材研究② エプロンシアターの指導計画および環境構成について | 講義 質疑応答 製作 | エプロンシアターの題材を決定し、指導計画の準備ができる。 | (予習) エプロンシアターの題材に必要な材料を整理しておく。 (復習) エプロンシアターの製作をする。 | 90 | 実行力 創造力 |
| 7 | 保育環境の教材研究③ エプロンシアターの指導計画および保育者の援助について | 講義 質疑応答 製作 | 指導計画をもとにエプロンシアターのマテリアルを準備し製作に取り掛かることができる。 | (予習) エプロンシアターの演じ方と環境構成について考えをまとめておく。 (復習) エプロンシアターの製作をする。 | 90 | 実行力 創造力 |
| 8 | 保育環境の教材研究④ エプロンシアターの作成 | 製作 | エプロンシアターの製作をすることができる。 | (予習) エプロンシアターの発表の疑問点をまとめておく。 (復習) エプロンシアターの製作と発表準備をする。 | 90 | 実行力 創造力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|-----------------------------------|--------------------------------------|---|---|-------|---------------------------------|
| 9 | 保育環境の教材研究⑤ エプロンシアターの発表準備 | 発表準備 | エプロンシアターの製作と発表の準備ができる。 | (予習) エプロンシアターの発表の練習をしておく。 (復習) エプロンシアターを完成させる。 | 90 | 実行力 創造力 |
| 10 | 自己紹介の方法 びっくりカードの製作 | 講義 製作 google classroomによる質問の受付 | 自己紹介の方法について理解し、びっくりカードが製作できる。 | (予習) 自己紹介の方法について考えておく。 (復習) びっくりカードを完成させる。 | 90 | 主体性 実行力 創造力 |
| 11 | 自己紹介の実践 びっくりカードを使って自己紹介の発表をする。 | 発表 google classroomによるフィードバック | 製作したびっくりカードを用いて自己紹介ができる。 | (予習) 自己紹介の練習をする。 (復習) 自己紹介の方法について振り返る。 | 90 | 主体性 実行力 創造力 発信力 規律性 |
| 12 | エプロンシアターの発表① 自作のエプロンシアターを実演する。 | 発表 google classroomによるフィードバック | 保育のねらいを明確にしたエプロンシアターの発表をすることができる。 | (予習) エプロンシアターの練習をする。 (復習) エプロンシアターの発表の振り返りと反省をワークシートに記入する。 | 90 | 主体性 実行力 発信力 傾聴力 |
| 13 | エプロンシアターの発表② 自作のエプロンシアターを実演する。 | 発表 google classroomによるフィードバック | 保育のねらいを明確にしたエプロンシアターの発表をすることができる。 | (予習) エプロンシアターの練習をする。 (復習) エプロンシアターの発表の振り返りと反省をワークシートに記入する。 | 90 | 主体性 実行力 発信力 傾聴力 |
| 14 | エプロンシアターの発表③ 自作のエプロンシアターを実演する。 | 発表 google classroomによるフィードバック | 保育のねらいを明確にしたエプロンシアターの発表をすることができる。 エプロンシアターの実践を振り返り、自己課題を明確にすることができる。 | (予習) エプロンシアターの練習をする。 (復習) エプロンシアターの発表の振り返りと反省をワークシートに記入する。 | 90 | 実行力 発信力 傾聴力 |
| 15 | まとめ | 講義・演習 | 学修成果を各自が確認し、今後に向けての自己課題を見出すことができる。 | (予習) 環境について理解したことを整理しておく。 (復習) 保育現場で実践できるよう、製作した保育教材を使って指導計画を作成しておく。 | 90 | 課題発見力 創造力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力